

熟練の ものづくり学ぶ

中日本航空専門学校で実技講習

関市迫間の中日本航空専門学校で5日間にわたり、厚生労働省認定の「ものづくりマイスター」(電子機器組み立て)の熟練技能を持つ村瀬隆雄さんを招いた



ものづくりマイスターの村瀬隆雄さん(右)から指導を受ける学生＝関市迫間、中日本航空専門学校

実技講習が行われた。航空整備科電子コースの2年生12人が実技とものづくりに携わる上での心構えを学んだ。

受講したのは、8月に行われる国家資格の「技能検定・電子機器組み立て3級」の合格を目指す学生。村瀬さんから基礎と一連の作業を一つ一つ学び、今後の勉強に生かす。

シャーシー(土台)にはんだ付けした基板を設置する作業では、村瀬さんは「はんだごてで電線を溶かさないうちに」「シャーシーを傷つけない」の注意点を指摘。さらに「素早く作業し、さらにきれいな製品を作ることが求められる」と心得

を説明した。生徒はドライバーやレンチを使って作業し、部品の分類なども慎重に行った。

同科准教授の梶田和彦

さんは「ベテランの知識を直接学べる貴重な機会。8月の全員合格を目指したい」と話した。

(佐名妙予)